



つつじが丘

第90号
発行
つつじが丘コミュニティ
広報部会

3年ぶりに開催された秋祭り

10月1日(土)・2日(日)に3年ぶりに秋祭りが開催され、好天にも恵まれ想像以上の人出となりました。1日目は、午前から各町内の皆さんが神輿の組立を行い、午後から会場設営を行いました。夕方から行われた各町内の餅つきには、つきたての餅をもらう人達が長い列を作っていました。

宵祭り式には、宮島市長を始め来賓の方々を迎え盛大に式典を行った後、振る舞い酒が振る舞われました。ビンゴゲームでは、用意していたカードが足りない位の人出となりました。また、和太鼓の演奏も行われ訪れた大勢の観客は力強い太鼓の音に魅了されていました。

最後に行われた恒例の抽選会は、コミュニティ創立40周年の特別賞が2本追加され、当選者の名前が読み上げられるたびに場内からは大きな歓声が上がり宵祭りは大盛況のうちに終了しました。



2日目も好天にも恵まれ、神輿の出発式が行われ舞台の前に勢揃いした神輿と共に参加者全員で祭りの安全祈願を行い、町内神輿と子ども神輿が町内の練り歩きへ出発して行きました。また、昨年新調された本神輿も今年初めて町内を練り歩き皆さんにお披露目されました。

午後12時には全ての神輿がセンター前に集合し、コロナ対策のため「ワッショイ・ワッショイ」のかけ声は中止され、集まった皆さんの手拍子に迎えられ入場しました。入場が終わり整列後、かけ声と共に一斉に神輿を高く担ぎ上げる様子は壮観でした。そして、本祭り式を行い引き続きみこし保存会によるお菓子撒きと餅投げが行われ、子どもも大人も大変盛り上がり2日間の秋祭りが無事に終了しました。



2年間中止された芸能発表会も開催

11月5日(土)・6日(日)の2日間、コミュニティセンターにおいて地域文化祭が開催されました。今年度はコロナ禍も下火となり、厳重な感染対策のうえ作品展示と芸能発表会も行いました。センターの2階では地域の方々が趣味の作品を多数出展され、1階では日頃から鍛錬を積まれた方々の芸能発表が行われ、多くの観客が堪能していました。

屋外では「かあちゃん朝市」とみこし保存会による「五平餅・ぜんざい」の販売も行われ、早々に売り切れとなり大好評の結果となりました。

久しぶりの完全開催に向けて準備を進めてきた関係者や優美なる作品出展や芸能発表をされた方々、さらには文化祭を楽しんで下さった皆さんのおかげで3年ぶりの文化祭を無事に終了する事が出来ました。



コロナ禍で2年間中止となっていた芸能発表会が11月5日(土)・6日(日)にセンターホールにて開催され、16団体が参加して詩吟・器楽演奏・踊りが披露されました。

新型コロナウイルス感染対策を徹底するためチケット制にして、演目ごとに観客の入れ替えを行いホール内の人数を制限しました。チケット制は初めての試みでしたが、換気を行うために観客の入れ替えや座席の移動など観客の皆様にご協力いただき、無事に発表会を進める事ができました。

コロナ流行下で発表の中止や延期などで披露する場が無くなってしまった団体もありました。久しぶりで発表会に出られるという事がとても嬉しくてこの日のために練習をしてきました、と少し緊張している様子でしたが笑顔いっぱいの演技に会場内が温かい雰囲気と大きな拍手で包まれました。

